

県道高森線に 癒やしのスポット

県道熊本高森線4車線化の工事
も着々と進み、広崎地区を貫く道路
沿いの景色も、ずいぶんと変わって
きました。

2年前、県道沿いにオープンした
のが「ミモザ」というカフェです。「地
震後、父の仕事場の跡地にお店をオ
ーブンさせました」と話すのは、杉
光直子さん(42)です。サンドイッチ
が人気で、店内でいただけるプレー
トランチも評判です。他にも、雑貨
などが取りそろえてあります。
店名の由来は、イタリアで毎年3
月8日に行われる国際女性デー「ミ



県道熊本高森線沿いにあるカフェ「ミモザ」

明るい笑顔が印象的な杉光直子さん



モザの日」にちなみます。「その日イ
タリアでは、男性が女性に日頃の感
謝を込めてミモザの花を贈ります。
女性たちはカフェでゆっくり過ご
すそうです。この店もそんな場所だ
ありたいと願って」と杉光さん。
復興へと歩みを進めるこの町で、
居心地のいい場所を、また一つ見つ
けました。



ミモザ特製のプレートランチ

球磨工業高校から寄贈された「神楽神社」の神殿



神殿の再建に注がれた 寄り添う心と心

広崎公園から南下した右手に、地
域の氏神の「神楽神社」があります。
祭神は国造りの神イザナギノミコ
ト、イザナミノミコトとされています。
しかし、5年前の熊本地震で神
殿や拝殿が被災しました。

2年前の9月、神殿の再建工事に
取り組んだのが、人吉市の球磨工業
高校の生徒たちです。神殿は、八代
城主だった松井家子孫の個人宅に
おいて明治中期に造られたもので、
同高に実習教材として寄贈された
ものが神楽神社に提供されました。

「伝統建築専攻科の8人の生徒さ
んたちが公民館に4泊5日寝泊ま
りして、神殿を移築してくれました」

「神楽神社」の神殿を移築し
てくれた球磨工業高校の生
徒たち(資料写真)



熊本工業高校の生徒たちが製作した「天満
宮」の神殿



左から緒方保則さん、竹本紀彦さん、菅野義昭さん